

(様式3)

令和3年度 しまねの公民館次世代参画支援事業 実績報告書

市町村名	大田市	公民館等の名称	大田市立中央公民館
------	-----	---------	-----------

事業の目的	多感な思春期の中学生が、様々な地区の「ひと・もの・こと」に触れることで人と人とのつながりを深め、地域活動に主体的に関わろうとする意識醸成を図る。
事業の内容	○ターゲットとする世代 大田第一中学校区生徒 ○地域の状況やターゲットとした理由 中央公民館ブロックの課題として、地域の人と人とのつながりが希薄になりつつある状況があげられる。そこで、「姿を、見かけなくなってくる」といわれる中学生の頃から地域の活動に主体的に参加してつながりづくりの基盤をつくるのが、長い目で見た次世代の育成になるのではないかと考えている。そこで、サタデースクールの活動を通して中学生が「参加者」として地域に出かけ、楽しさを知ることきっかけとしながら、J0いんつ♪等がかかわっている地域活動に「主体者」として参画を促していける場を準備し、事業を計画した。そのことにより、地域活動の中で「中学生の姿が見える」次世代育成の場づくりを行っていきたい。 ○事業の内容（日時、場所、参加者数、具体的な活動）を具体的にご記載ください。 《サタデースクール》 10月10日(日)「代官いも収穫祭」 くりの里産直市場農園（生徒11名、保護者3名、教職員7名） 久利町銀農会、まちづくり推進協議会の皆さんから芋収穫体験活動の指導をもらった。地域久利町住民や幼児と保護者、一中サデースクール参加生徒や保護者、教職員と幅広い参加があり交流の場が広がった。   11月13日(土)「どんぶりプリンを作ろう・国際交流活動」 大田市民センター（生徒15名、保護者1名、教職員4名） 川合町の中山農場(住田善一さん、奈々さん、ベトナム人研修生3名)に農場の牛乳を使ったプリン作りと国際交流活動の指導をしていただいた。 ベトナム人実習生との国際交流活動は、お互いを理解し合える場になった。 コロナ禍でもあるので、プリンについては、自宅に持ち帰っての試食になった。   

12月25日(土)「書き初め教室」

大田市民センター（生徒29名、教職員5名）

市内書道家7名に依頼し、書初めの指導をしていただいた。

各学年の課題から自らの課題を設定し、真摯に向き合いしあげていた。



12月25日(土)「エアロビクス」

大田小学校 体育館（生徒20名、保護者2名、教職員6名）

一中サテライト参加生徒や保護者、教職員とともに、小学生の体操教室生も約20名参加し、人と息を合わせて踊る楽しさを体験した。



成果と課題  
今後の見通し

○期待する成果・効果

- ・地域学校協働本部地域の専任コーディネーターを通じて、より多くの地域の人とふれあい、つながりを深めながら、地域活動や公民館活動に関わることの楽しさを感じることが出来る。
- ・地域の良さや課題に気づき、課題の解決に向け自ら考え主体的に参加する生徒を増やす。

○計画書に記載された「期待する成果・効果」をふり返って見られた成果や課題、次年度以降の見通しなどをご記載ください。

- ・地域学校協働本部の専任コーディネーターを通じ、多くの地域の人とふれあい、つながりを深めることができた。例年以上の参加生徒があり、また意欲的な態度と実践から講師や地域の方からも感心され、参加生徒も地域の方もお互いに良い関わりとなった。
- 来年度以降も、今回の反省や課題を活かして、地域学校協働本部の専任コーディネーターを通じて、地域の講師さんや住民の方と協力し、学校では味わえない地域との関わりを感じられる事業にしていきたい。